

## 令和6年2月13日 議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

○議長（中本隆志君） 一言御挨拶を申し上げます。

本日、2月定例会が招集されましたところ、議員各位には極めて御健勝にて御参集を賜り、県政進展のため、誠に御同慶に堪えません。

まず初めに、先月発生した能登半島地震により犠牲となられました方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、被災地の1日も早い復旧・復興を念願する次第であります。

地震の発生から1か月以上が経過いたしました、被災地では、自衛隊をはじめ、全国から派遣された警察、消防、自治体職員などによる懸命の支援活動が続いており、本県におきましても、1月4日から警察部隊を派遣したほか、医療、公衆衛生チームなどの派遣や県営住宅の無償提供など、多岐にわたる支援が行われているところであります。平成30年7月豪雨災害において、全国から多くの支援を受け、復旧・復興を進めた本県の経験などを踏まえ、今後もできる限りの支援を続けていきたいと思っております。

さて、我が国の経済はコロナ禍を乗り越え、昨年は30年ぶりの高い水準の賃上げや過去最大規模の設備投資を実現し、GDPギャップも解消しつつあります。また、日本を覆っていたデフレ心理にも変化が生じており、長年続いた停滞から抜け出すチャンスを迎えております。

本県におきましても、コロナ禍からの正常化やG7広島サミットの効果などにより、景気の回復が続いており、今後はこの流れをより確かなものとし、成長への好循環を実現していかなければなりません。

県当局には、サミット効果を最大限生かし、観光誘客や企業誘致など、国内外の人や事業を呼び込む取組などを一層推進するとともに、昨年、本県議会として、積極的に取組を進めたインドやベトナムとの交流の成果などを生かして、県内企業の投資促進やグローバルな事業展開を後押しすることなどにより、本県の成長・発展を図っていただきたいと思っております。

一方で、足元の物価高騰の影響はいまだ幅広い分野に及んでおり、厳しい状況に置かれている方々への支援を継続するとともに、ゼロゼロ融資の返済が続く中小企業等への資金繰り支援などについても、引き続き、対策を講じていただくようお願いします。

また、人口減少を背景に恒常化する人手不足は、コロナ禍からの経済活動の再開などで様々な業種に影響を及ぼしており、物流・建設業界などでは、4月から始まる時間外労働の規制強化により、一層深刻化することが懸念されております。既に、中小企業や小規模事業者の中には、多くの業種で思うように採用ができず、事業の継続が困難となるケースも出ているなど、経済活動が活発化する中で、大きな経営リスクとなっております。

県当局には、デジタル化やリスクリングなど、企業等の生産性を高める取組を支援するとともに、外国人材の受入れ拡大など、様々な対策を検討し、企業活動を支援していただきたいと思っております。

さらに、本県では、若者の転出超過が課題となっており、企業の人材確保にとどまらず、地域全体の活力の維持にも深刻な影響が懸念されております。就職や進学時における若者の流

## 令和6年2月13日 議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

出などに対しては、これまでも様々な取組を実施してきましたが、十分に歯止めがかかっておらず、コロナ禍で若者の地方への関心が一時的に高まったものの、その後は、再び東京一極集中の流れが加速しております。

県当局には、流出要因の深掘りやこれまでの施策の検証などを踏まえ、魅力ある雇用の創出や教育、子育て環境の整備など、若者を引きつける取組をさらに磨き上げ、本県の成長力の維持向上を図っていただくようお願いします。

本県ではこうした課題がある中、先日、新サッカースタジアムが開業し、今後も、陸の玄関口であるＪＲ広島駅ビルの整備や都心部の再開発など、本県の新たな魅力の創出につながるプロジェクトが進められており、拠点性向上による集客力やビジネス環境の強化に期待が高まっております。

県議会といたしましても、本県の前向きな変化などを踏まえ、様々な課題の解決に取り組み、県民の皆様が将来に希望を持てる社会の実現に取り組んでまいりたいと考えております。

さて、今次定例会に提出されます議案は、令和6年度当初予算をはじめ、条例案など合わせて47件ありますが、いずれも県政の当面する重要案件であります。各位におかれましては、活発なる御審議を賜り、もって県民の負託に応えられますようお願いいたします次第であります。